

平成28年度 地方公共団体定員管理研究会（第4回）

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成29年2月10日（金） 15：30～17：30

開催場所：消防庁会議室

出席委員：西村座長、浅羽委員、阿部委員、久芳委員代理、中澤委員

原田委員、古埜委員、森下委員

（委員は五十音順）

2. 議事経過

(1) 道府県の定員モデルに係る説明変数等について

(2) 報告書案について

3. 意見交換の概要

○説明変数のあり方について

- ・ マイナスとなる変数の取扱いについて、住民に説明しやすいというのは大事な要素であるが、それだけを採否の理由とするのではなく、実態と合っているか、変数と職員数の関係がイメージできるかといった視点も必要ではないか。
- ・ t 値がマイナスとなる変数について、対外的に説明を行うのは非常に難しいが、一方で将来的に値が変化すれば職員数に影響する、ということを経験すればマイナスとなる変数を採用しても良いのではないか。
- ・ マイナス・プラスに関係なく、その部門の行政需要をよりよく説明し得る変数を採用すべき。

○報告書案、情報提供等について

- ・ 提供するデータについては、当該年度のみでの提供とするのか、全国的なトレンドを反映するために単年度で毎回改定していくのか今後検討する必要がある。
- ・ 将来の想定される数字を入力すると、定員数が簡単に試算できるようなエクセルシートを提供することが出来れば、各団体で様々な想定を用いて、定員について議論することができるのではないか。
- ・ 気づきの指標という趣旨からも気軽に活用できるようなシステムが望ましい。
- ・ 「定員モデル」というと、そこで求められた数値は目標値と捉えられかねない印象があるため、あくまでもシミュレーションであるということが分かるようなアピールができないか。